

2020年4月1日から2024年3月31日の間に

QST病院へ初診申し込みされた患者さんへ

(対象疾患：肝細胞癌・膵臓癌・大腸癌（術後再発）・子宮頸部腺癌・前立腺癌・骨軟部腫瘍・頭頸部腫瘍・早期肺癌）

量子科学技術研究開発機構では初診申し込みを行った患者さんの診療情報データを解析し、重粒子線治療が先進医療から保険診療へ制度移行する際の、社会的影響を検証します。

データはすべて他の情報と照合しない限り特定の個人を識別できないよう加工され、いわゆる個人情報や個人を特定できるデータが使われることはありません。この研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」により、対象となる患者さんお一人ずつに直接説明を行った上で同意をいただく代わりに、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先：窓口」へご照会ください。もし、詳しいことをお知りになりたい場合には、より詳しい計画書や関連資料を閲覧いただくことができます。また、改正個人情報保護法に基づく開示・利用停止等の手続き等を希望される場合にはお申し出ください。

[研究課題名] 重粒子線治療が保険診療へ移行したことによる患者紹介状況及び重粒子線治療の実施状況の変化を解析する後ろ向き観察研究

[実施期間] 許可日～2027年03月31日

[研究機関] 量子科学技術研究開発機構 QST病院

[研究責任者] 田代 愛子（量子科学技術研究開発機構 QST病院）

[研究の目的] 重粒子線治療が先進医療から保険診療へ移行したことにより、患者・政策医療・病院運営の観点におけるインパクトを明らかにすること。

[研究の対象・情報の収集方法]

●対象となる方々

2020年4月1日から2024年3月31日の期間にQST病院へ初診申し込みをされた方

対象疾患：肝細胞癌・膵臓癌・大腸癌（術後再発）・子宮頸部腺癌・前立腺癌・骨軟部腫瘍・頭頸部腫瘍・早期肺癌

●利用する情報及び収集方法

地域医療連携室保管のデータや診療録等から情報（初診とならなかった理由、患者ID、初診申し込み日、疾患名、紹介元医療機関の情報、初診日、重粒子線治療開始日、重粒子線治療未実施の理由）を収集し、他の情報と照合しない限り特定の個人を識別できないようにして、オフラインの電子媒体でパスワードをかけ、施錠できる部屋で保管し、安全管理に配慮した上で保管管理します。

[個人情報の取り扱い]

利用する情報はお名前などの個人を直接同定できる情報を削除し、他の情報と照合しない限り特定の個人を識別できないよう加工した状態で用います。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を特定できる情報が外部に出ることはありません（個人情報保護法及び研究機関の個人情報保護に関する規則等に従い取り扱います）。

この研究にご自分のデータを使ってほしくない方（又は代理人の方）は、2026 年 11 月 30 日までに下記窓口にお申し出くださるようお願いいたします。また、本研究で取得させていただいたデータは、将来的に、現時点では定まっていない新たな研究目的のために二次利用させていただく可能性があります。二次利用に関する拒否のお申し出がない限り、データは研究期間の終了後も引き続き保管させていただきます。上記期限を過ぎた後でもデータ利用の拒否をお申し出いただけますが、解析に使用して個人情報と切り離されてしまった情報は取り除けないことがあります。そのような場合であっても患者さんの個人情報が公表されることはありません。また、ご自分のデータの使用をお断りになっても不利益を受けることはありません。

【問い合わせ先：窓口】（平日9:00～17:00）
千葉県千葉市稲毛区穴川4-9-1
国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構
QST病院 病院事務課 田代 愛子
電話：043-206-3306（内線6323）